

令和 6 年度第4回新座市地域自立支援協議会

地域生活支援部会 活動報告

【令和 6 年度の部会メンバー】

- ・部会長 くるみの木 石川
 - ・副部会長 サンすまいる 佐野
- (部会員)
- ・新座市基幹相談支援センターにいざ生活支援センター:高野
 - ・新座市基幹相談支援センターえん:安田・菊池
 - ・ファームそら:比良 ・新座市社会福祉協議会:小野 ・新座市障害者を守る会:奥山
 - ・ふらっと:大野 ・太陽:佐藤 ・アイズ:川俣

【第4回 地域生活支援部会 報告】

日時:令和6年 11 月 7 日木曜日 10:00～12:00

場所:新座市役所 5 階 第 2 委員会室

参加者: 12名

(内容)

- ・拠点等事業の現状は、登録利用者が 9 名、登録事業所が 1 事業所であることを確認した。
- ・事例検討は、市内の相談支援事業所の相談支援専門員に参加してもらい、事例報告をしてもらった。事例検討を通じて、①課題の整理ができた、②課題に対する支援方法のアイデアを出すことができたという 2 つの成果が得られた。
- ・個別事例の報告書の作成に向けて部会員の中から担当者を選出した。

【第5回 地域生活支援部会 報告】

日時:令和 7 年 1 月 9 日木曜日 10:00～12:00

場所:新座市役所 5 階 第 2 委員会室

参加者: 8名

(内容)

- ・拠点等事業の現状は、登録利用者が 13 名、登録事業所が 1 事業所であることを確認した。
- ・部会で作成する事例集の目的を確認した。

<目的>

実際に緊急対応を行った事例や緊急にならないための取り組みを行った事例をまとめて、市内の障がい福祉サービス事業所に周知し、地域のネットワークによる取り組みを推進することを目的とする。

- ・事例集の作成に向けて、個別事例の報告書の作成を行う。報告書の内容や活用方法については未定。今後は報告書作成の担当者を中心に進めていく。
- ・今年度の活動を振り返った。
 - 拠点等事業の開始に伴い、市民向けの「チラシ」や登録利用者の情報をまとめる「あんしんシート」という形ができて良かった。
 - 事業者間の顔合わせが印象深かった。
 - 昨年より動きがあった年であった

【第6回 地域生活支援部会 報告】

日時:令和 7 年3月6日木曜日 10:00～12:00

場所:新座市社会福祉協議会 大会議室

参加者: 22名

(内容)

- ・拠点等事業の現状は、登録利用者が20名、登録事業所が3事業所であることを確認した。
- ・参加者を3つのグループに分けて、「緊急対応を行った事例の共有と意見交換」というテーマでグループワークを行った。そして、各グループから「緊急と判断した要因」「緊急時の支援の連携」「気づいたこと・話題になったこと」について発表してもらい、全体共有を行った。